

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月 7日更新

事務事業名		健康都市こうし推進事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	福祉の健康				所属部	総務部	課長名	塚本 健洋
	施策	5	健康づくりの推進				所属課	秘書政策課	担当者名	衛藤 剛
	施策の柱	19	病気にならない生活習慣の確立				所属班	秘書政策班	(内線)	1212
予算科目		会計一般	款2	項1	目25	事業連番11669	根拠法令			
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 27 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	本市は「健康都市こうし」として、市民の健康、行財政の健康の2本を骨子に掲げ推進しており、「健康都市こうし」の実現を図る一翼を担うものである。本事業では、健康寿命と平均寿命の乖離を是正し、医療費適正化、また、健康産業市場の開拓・育成を図り、自立して持続的な成長が可能な市場の形成を行う。また、国が2025年を目途に構築を推進している「地域包括ケアシステム」を見据え、医療・介護・健康政策のみならず、地域政策の根幹としての位置付けを目指す。事業実施主体は「ウエルネスシティこうし」が中心となり、市民等を対象とした健康増進事業や健康データの利活用事業として具体的には、以下の事業を行った。 ①医療と連携した運動・スポーツの習慣化の実践事業：スポーツ庁の補助金を活用し、医療と連携した地域における運動・スポーツの習慣化モデル実証事業を行う。健康状態に応じて安全かつ効果的な楽しい運動・スポーツを地域で安心して親しめる機会を創出した。 ②バーチャルウォーキング大会：参加者全員が専用のウェアラブル端末（活動量計）を装着し、日々のウォーキングやランニングなどの健康活動を自動的に計測・記録。コロナ禍においてもバーチャルで楽しみながら取り組めるイベントとして開催した。 ③健康データベース「マイライフカルテ」構想：上記のような健康イベントや健康診断、日々の暮らしなどにおいて得られる健康データをカルテとしてデジタル化し、市民が自身の健康状態を考え、日々の健康活動に生かしてもらう構想を策定した。
【業務の流れ】	①地方創生推進交付金やスポーツ庁補助金などの計画書作成・申請書提出 ②計画書に基づき事業実施体制構築して事業実施 ③負担金や委託料の支払い ④国・県に対して事業実施報告・精算
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、委託料
【意見や要望】	特に意見や要望は上がっていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO) 健康都市こうしを目指し本市が産学官連携の地域版ヘルスケア産業協議会「ウエルネスシティこうし」と連携し、医療と連携した運動・スポーツの習慣化の実践事業やバーチャルウォーキング大会などを行い、市民の健康増進や健康産業創出を図った。(R3.3.31現在会員：4,201人)		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ウエルネスシティこうし事務局運営の負担金として地方創生推進交付金を支出予定。令和2年度から4年度までの3カ年に渡り、健康データベース「マイライフカルテ」構想の策定に取り組む。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア ウエルネスシティこうし正会員数	団体	事業を集約したことによる委託料の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民・企業	人	→ア ウエルネスシティこうし会員数(市民)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
健康活動や食育に取組む機運醸成	%	→ア 心身が健康だと感じる割合
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市民の健康増進と地域版ヘルスケア産業を育成するためにウエルネスシティこうしを設立しており、その目標達成に必要な指標とした。		全体計画 ～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込
① 活動指標	ア 団体		13	13	16	14	16	16	16	16
	イ									
② 対象指標	ア 人		4,064	4,203	4,210	4,201	4,220	4,250	4,300	4,350
	イ									
③ 成果指標	ア %		55.6	49.7	54.4	54.9	54.5	54.6	54.7	54.8
	イ									
投 入 費 用	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	7,000	6,500	5,000	13,949	5,000	5,000	
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円			1,000		1,000	1,000	
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	7,140	6,620	5,249	6,959	5,120	5,249	7,258
	(A) 事業費計		千円	14,140	13,120	11,249	20,908	11,120	11,249	7,258
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	1	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	1,200	1,196	100	2,400	1,200	1,200	1,200
		(B)人件費計	千円	4,730	4,739	398	9,463	4,780	4,780	4,780
トータルコスト(A)+(B)		千円	18,870	17,859	11,647	30,371	15,900	16,029	12,038	12,038

事務事業名	健幸都市こうし推進事業	所属部	総務部	所属課	秘書政策課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 2 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 コロナ禍にて例年行っていたウォーキング大会等の屋外イベントは開催できなかったが、ICTを活用したバーチャルウォーキング大会やスポーツ庁補助事業を活用した運動・スポーツ習慣化促進事業を実施することにより、市民や会員の健康づくりに寄与した。
	② 3 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ウエルネスシティこうしや、連携する企業・団体が創意工夫により新たな健康産業の創出に向けた取り組みを実施することで達成可能である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 新規事業の創出や会員の増加により、さらなる事業の展開が可能と考える。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市内唯一の地域版次世代ヘルスケア産業協議会であり、類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 地方創生推進交付金により、ウエルネスシティこうしの運営を行っているが、次年度以降の自走化のために実証事業等を行うため、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 正会員の一人として、事務局運営等を確認する必要がある。また推進交付金を支給していることから、予算管理についても確認するため、最小限の事務で行っており削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市・市民に平等にサービス向上を図るための参画事業であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ウエルネスシティこうしが事務局機能を有しており、正会員の一人として官民連携して活動していることから、行政が役割を担う部分のほかは役割分担して行っているため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

令和2年度は地方創生推進交付金やスポーツ庁補助金、多様なモビリティ普及促進事業を活用して、ウエルネスシティこうしの活動支援を行ってきた。個人会員の増加につなげることができ、市民の健康意識の向上に寄与してきた。また、新たな産学官連携の枠組みの中で、自走化に向けて事業を実施できた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可					(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																									
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）					<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上		○																											
	維持																													
	低下																													
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																														